

授受表現まとめ 「あげる」「もらう」「くれる」3項対立						内	兄弟 両親	親友 私自分	外	他人 知らない人	第三者
観点	①モノの移動の方向 ②それを見る観点 ③内・外の関係					あげる	内→外		外→外		
表現方法	動詞の変化でなく、対応する動詞を使い分ける表現。7種類ある					「与え手」が、「受け手」にあげる。			ガ格に視点がある。		
授与動詞	非尊敬形	尊敬形		「あげる」「もらう」 ダイクシス表現 直示 意味が文脈に依存する		私→外	私は先生にお土産をあげます。		与え手が主語		
	あげる/やる	さしあげる	謙譲語 I			内→外	母は知らない人にお金をあげました。				
受取動詞	くれる	くださる	尊敬語			私→内	私は弟にプレゼントをあげます。				
	もらう	いただく	謙譲語 I			外→外	山田さんは鈴木さんにプレゼントをあげます。				
必須項	「ガ格」「二格」「ヲ格」の3項は必須項である					もらう		内・外 全部OK			
	太郎が 花子に 本を あげた。		3項動詞 ～がーにーを あげる 彼が彼女に本を上げる 貸す 彼が彼女に本を貸す 送る 彼が彼女に本を送る 教える 彼が彼女に絵を教える			「受け手」が「与え手」にもらう。			ガ格に視点がある		
	花子が 太郎に 本を もらった					私→内	私は母にプレゼントをもらった。		受け取り手が主語		
	太郎が 花子に 本を くれた。					内→内	母は父に指輪をもらった。		※「から」変更可能		
						外→外	山田さんは鈴木さんに猫をもらった。				
「もらう」の時に「二格」は「カラ格」と交代できる。（「もらう」だけ）					外→私	私は知らない人に本をもらいました。					
花子が太郎に本をもらう。=花子が太郎から本をもらう。					くれる		外→内		日本語特有		
					「与え手」が「受け手」にくれる。			二格に視点がある。			
視点	太郎 与え手	が	花子 受け手	に	本を	あげる	外→私	知らない人がお菓子をくれました。		与え手が主語	
	ガ格に視点がある					外→内	先生が妹にプレゼントをくれました。				
	花子 受け手	が	太郎 与え手	に	本を	もらう	内→私	兄は私に靴をくれました。			
	ガ格に視点がある					1項対立	中国語 「給」ですべてを表す				
					2項対立	インドネシア 英語 韓国語 あげるGive-もらうReceve					
					受益表現 意志動詞「テ形」+「あげる/やる」「くれる」「もらう」						
太郎 与え手	が	花子 受け手	に	本を	くれる	私に彼に	料理法を	教えてあげた。	教えてやった。		
					彼は私に	料理法を	教えてくれた。				
					私は彼に	料理法を	教えてもらった。				
					**二格に視点がある						

<p>やっと春が来てもらった。(×)</p> <p>たくさんの友達に来てもらった(○)</p> <p>父に手伝ってもらった(○)</p> <p>東京にもやっと春がきてくれた。(○)</p> <p>雨が降ってくれた。</p>	<p>「てもらう」の動作主は人である。</p> <p>「てもらう」の二格は意志の疎通が必要</p> <p>「くれる」のガ格は人でなくても良い</p> <p>「くれる」のガ格は人でなくても良い</p>	<p>「くれる」「くださる」は対象を生物に限らず使える</p> <p>「雨がやんでくれて良かった。」</p> <p>「タクシーがすぐに来てくれた。」</p>
<p>「てもらう」の二格は意志の疎通が必要</p> <p>父が手伝ってくれた。</p> <p>父に手伝ってもらった。</p>		<p>「てもらう」「ていただく」は相手の動作が自分にとって利益があり、ありがたいことだと表し丁寧さを示す。</p> <p>「勉強を教えてください」「勉強を教えてください」</p>
<p>(私が) タクシーを呼んだら(タクシーが)すぐ来てもらった。(×)</p> <p>(私が) タクシーを呼んだら(タクシーが)すぐ来てくれた。(○)</p>	<p>「もらう」は人が動作主</p> <p>「くれる」は無生物動作主OK</p>	<p>「代金は、明日までに払ってもらいます。」</p> <p>「代金は、明日までに払っていただきます。」</p>
<p>「もらう」は受け手が主語になる：主語ガ格に焦点がある</p> <p>「くれる」は与え手が主語になる。：二格に焦点がある</p> <p>「あげる」は与え手が主語になる。：主語ガ格に焦点がある</p>	<p>私が妹にケーキをもらった。</p> <p>妹が私にケーキをくれた。</p> <p>妹が母にケーキをあげた。</p>	<p>「あげる」「差し上げる」は恩恵の押し付けにつながるので目上の人には使えない。</p> <p>「やる」は「あげる」「差し上げる」と同じく「与える」意味を表現する。</p> <p>「花に水をやる」「弟にノートをやる」</p> <p>目下の身内を対象としても用いる。</p>
<p>日本語では他人の行為が自分に利益があるときに、「もらう」「くれる」を使う。</p> <p>物の授受 私が妹にケーキをもらった。</p> <p>行為の授受 店長に日本語を教えてください。</p>		